

図 2. 2008 年岩手・宮城内陸地震震源域の地質構造俯瞰図.

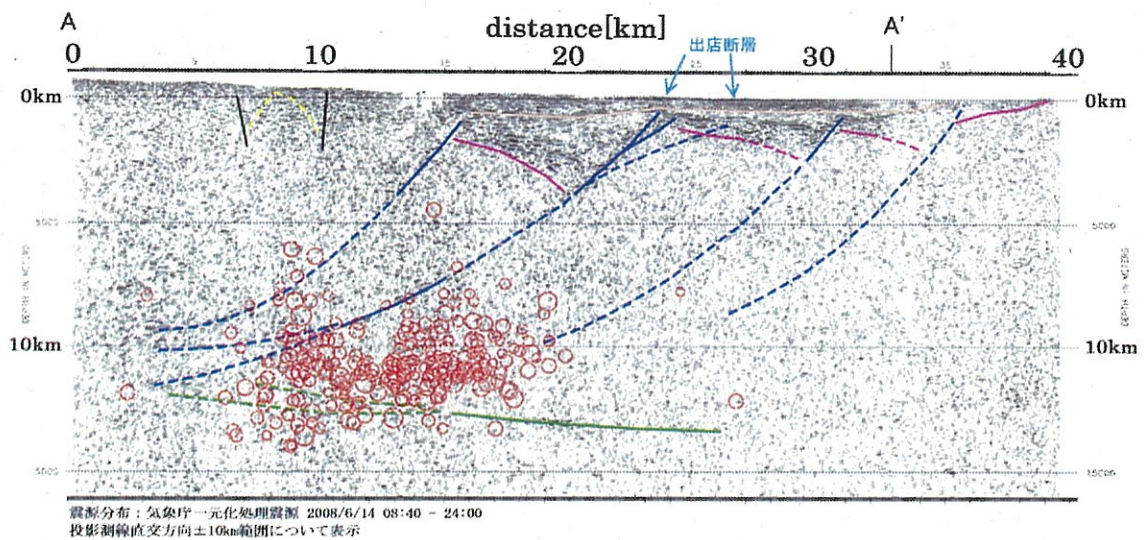


図 3. 震源域北部を横切る反射法地震探査断面と余震分布. 阿部ほか (2008) の断面に加筆.

震源分布 (赤丸): 気象庁一元化処理震源 2008/6/14 08:40 - 24:00, 投影測線直交方向±10km 範囲について表示. 震源決定に用いている速度構造より, 堆積層部分の速度が遅いため, 出店断層の深部延長と震源分布はより近い位置関係になる. 断面線の位置は図 1 参照.

阿部 進ほか, 2008, 物理探査学会第 118 回学術講演会講演要旨.